

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (甲信越)	◎	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・予約状況がかなり埋まってきている。
	◎	スナック（経営者）	来客数の動き	・4～5月は来客数がかなり回復して、新型コロナウイルス感染症発生前に近い売上があった。3年間まともにできなかった宴会は、なかなか回復してこないが、新型コロナウイルス感染症の影響で閉店した店も多く、居酒屋の軒数が減っていることもあり、生き残った店に客が集中している。
	◎	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・5月8日より新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、今まで実施を先送りしてきた同窓会や研修会、グループでの旅行等が動き出し、新型コロナウイルス感染症発生前と同程度まで回復している。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の5類移行による急激な変化はない。ただし、法人や団体利用の間合せは日々増加している。また、依然として個人客の動きは活発で、ゴールデンウィークは宿泊、レストランいずれも、個人利用が好調で非常に好循環となっている。G7の関係閣僚会合が開催されたが、メリット、デメリット双方あり、影響は良くも悪くもなく終了している。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	それ以外	・5月に当県でG7の関係閣僚会合が開催された。その恩恵を受け、各国の大臣他関係者等の宿泊があり、5月の宿泊売上が前年同月と比べて140%となっている。
	○	商店街（代表者）	単価の動き	・ゴールデンウィークに大きな期待をかけていたが、今一つで終わってしまった。値上がり商材が多く、客の財布のひもが固くなっている。
	○	スーパー（経営者）	それ以外	・前年比で売上は12%減、来客数は23%減となっている。来客数減少により、店頭売上が回復しない状況ではあるものの、外販は2月中盤から増えてきている。イベントの増加で仕出し注文も増えてきている。売上は減少しているが、最終的に利益を確保したい。
	○	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・観光客、特に外国人客が増加しており、やや良くなっている。
	○	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・直近の実績で、商材販売がプラス10%以上のカテゴリがあり、その状況は継続している。
	○	コンビニ（店長）	来客数の動き	・2～3か月前に比べれば若干良いような気がする。新型コロナウイルス感染症の5類移行と、天候が比較的良い状況で推移していたので、ある程度売上につながり、有り難い。
	○	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車供給の制約が緩和され始め、販売台数が増加している。
	○	その他専門店〔酒〕（店長）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク期間中は、順調な売上で、ホテル、飲食店等も非常に良い動きだった。通常、ゴールデンウィーク後は厳しくなるが、まとめ買いがかなり多くなってきている。客数というよりは、1人当たりの購入単価が増えてきている。
	○	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、人流が増えている。
	○	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の5類移行と行動制限等の廃止に伴い、旅行需要が高まってきている。まだ個人層が主流であるが、一般企業や任意団体の申込みや旅行相談も増加してきている。全国旅行支援が6月で終了予定と思われるが、終了以降の申込みも増えてきている。
	○	タクシー運転手	販売量の動き	・ここ数か月、前年比115%前後で進んでいるので、やや良いのかもしれない。新型コロナウイルス感染症発生前の令和元年5月と比べて、現在は84%まで回復している。
○	観光名所（職員）	来客数の動き	・来場客は外国人観光客が圧倒的に多く、運輸部門は好調だが、観光土産等の買物は余りしないのが悩ましいところである。	

	○	その他レジヤ施設 [ボウリング場] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の5類移行で、店での規制も緩和されて検温や消毒などの作業がなくなり、以前のような営業形態に戻りつつある。ゴールデンウィークもコロナ禍前のようなにぎわいが戻ってきた感じがある。
	□	商店街 (代表者)	販売量の動き	・4月の新入生向けの学校販売も終わり、いよいよ各クラブ活動が盛んになってきて、前年と同じような感じで動いている。
	□	スーパー (経営者)	来客数の動き	・単価は上昇しているものの、来客数は安定しており、買上点数も堅調である。
	□	コンビニ (経営者)	来客数の動き	・来客数が前年を下回っている分、客単価が上がっているのので、売上の的には横ばいである。
	□	家電量販店 (店長)	来客数の動き	・天候や気温の影響もあるが、季節商材を購入する来店客が少ない。
	□	乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・車検、一般整備に関しては、目標をクリアしている。車両修理に使用される部品は値上がりしているが、客は納得している。しかし、水道光熱費を含め、あらゆる物が値上がりし、車両購入に慎重になる客も増えてきている。
	□	スナック (経営者)	来客数の動き	・都会では上向きのようなのだが、当地方ではいろいろなことが重なって、本当に景気が悪い。毎回同じ回答になるが、何とかならないだろうか。
	□	通信会社 (社員)	販売量の動き	・加入者の純増数が思いのほか伸びず、客単価自体も横ばいで推移している。
	□	遊園地 (職員)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の5類移行や旅行機運の高い状況が続いており、前年と比較して来客数は増加している。
	□	設計事務所 (職員)	来客数の動き	・相変わらず依頼数は多く、1人で幾つもの物件に対応している。
	▲	商店街 (代表者)	来客数の動き	・他の業界では回復しているようだが、当店の立地する中心商店街では、相変わらず日中でもほとんど人出はない。
	▲	コンビニ (経営者)	来客数の動き	・今月に関しては、ゴールデンウィークや自動車税納付の時期も重なって、出費がかさむ月なので、来客数や単価が落ち気味である。来月以降に期待したい。
	▲	自動車備品販売店 (従業員)	来客数の動き	・物価高の影響もあり、生活必需品以外への出費は抑えたいためか、来客数が減ってきている。
	×	衣料品専門店 (経営者)	販売量の動き	・工賃、材料費、その他諸経費の値上げにより、採算が合わない。客は多少の値上げにも敏感で、当たりが強い。
企業動向関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の5類移行で、人の動きは活発になり受注量が増えつつある。
	○	出版・印刷・同関連産業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響も大分なくなり、イベント等が開催されるようになってきている。それに伴う印刷物が少しずつだが増えている。
	○	電気機械器具製造業 (経営者)	取引先の様子	・イベント関係の製品受注が増えている。
	○	新聞販売店 [広告] (総務担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の5類移行により、旅行業では前年比で売上を順調に伸ばしている。少しずつではあるが、法人による社内旅行等の問合せも増えてきている。
	□	食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量の動き	・業務店並びに一般酒販店からの引き合いは、相変わらず弱含みに推移している。
	□	窯業・土石製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・商材受注はやや増加傾向だが、例年受注している商材の一時的な動きである。

	<input type="checkbox"/>	その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	受注量や販売量の動き	・今月末、関西地区で大規模な展示会が行われた。真珠を中心に海外バイヤーへの販売は好調で、宝飾業界全体の景況感を押し上げている。しかしながら、国内の宝飾市場は悪くなっている。コロナ禍では旅行や会食が制限されていたことで、他に使うところがないからと宝飾品を求めている客も、新型コロナウイルス感染症が収束してきたことで、宝飾から旅行、服飾、雑貨といった物に支出は移り変わってきている。宝飾催事を企画しても集客、売上ともに、コロナ禍の前年との比較で10%ダウンは当たり前になってきている。前年並みの売上でも、地金相場の高騰から利益率は下がっている。
	<input type="checkbox"/>	建設業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・新年度に入り、公共や民間共に大型工事はなく、民間の小口工事が徐々に出てきている。
	<input type="checkbox"/>	金融業 (調査担当)	取引先の様子	・企業の規模や業種等で2極化が感じられるようになり、方向感が見えにくくなってきている。
	<input type="checkbox"/>	金融業 (経営企画担当)	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染状況も下火になり、外国人観光客が戻ってきている。今後については不透明な部分もあるが、状況としては変わらないと判断している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	食料品製造業 (製造担当)	それ以外	・今月も資材の値上げがある。いまだ値上げの波は止まらず、経費が増えるだけで厳しくなっている。
	×	*	*	*
雇用 関連	◎	—	—	—
(甲信越)	○	求人情報製作会社 (総務担当)	周辺企業の様子	・今月は正直、もっと求人が活発になるかと思っていたが、思ったほどの上昇までは行かなかった。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社 (営業担当)	雇用形態の様子	・求人や求職者数に変化はないが、お互いに高条件を望んでいるため、マッチングしていないのが実情である。今後もこの状況は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は、ゴールデンウィーク後に再び増加傾向となったものの、5類移行後の緩和ムードもあいまって外出や観光等、消費活動が活発になってきている。こうした状況に対応する業種の求人は増えているが、人手不足は深刻である。一方、主に製造業等では求人が手控えられている。これは原材料不足やエネルギー価格等の高騰の影響によるものと考えられる。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・3か月前と比較し、求人数の増加が見られない。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・求人数は、前年と比較し、ほとんどの業種で増加しているものの、実際に人材が確保できない等の理由から、商機を逃す等、業績向上につながらない状況がうかがえる。原材料高による収益の悪化等が顕著となる事業所も発生している。
	<input type="checkbox"/>	民間職業紹介機関 (経営者)	求人数の動き	・求人は若干減る傾向にあるものの大差はない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—	—
	×	—	—	—